

澄んだ秋風が吹き抜ける季節となりました。

7月から8月にかけて開催された「夏休み親子お菓子づくり教室」や、「音訳ボランティア講座」、「親子木工教室」、文化芸術・スポーツなどの多彩な「生涯学習クラブ体験」は、地域の皆さまの温かいご協力により、子どもたちの笑顔があふれる、実り多い時間となりました。

また、8月1日には「ふるさと納涼祭」、9月6日には「自治会対抗球技大会」も盛況のうちに幕を閉じました。

10月18日の「厚狭センターまつり」、さらに10月～12月に予定しております寿大学・女性学級の講座等、続くプログラムでも皆さまが「学び、支え合う」拠点として、充実したひとときを提供できるよう努めてまいります。これからも、厚狭地域交流センターを身近な学びの場、交流の場としてご活用いただき、地域の絆をさらに深めていくことができますようお願い申し上げます。

厚狭地域交流センター長



夏休み親子お菓子づくり教室（7/18・7/25）



【夏休み特集】小中学生向け体験講座



本センターでは、夏休み期間中に小中学生を対象とした体験教室を開催しました。子どもたちは講師の先生方の指導のもと、さまざまな活動に意欲的に取り組み、有意義な学びの機会となりました。

7月24日（金）音訳ボランティア講座（中学生）



今年も中学生を対象とした「音訳ボランティア講座」を開催し、今年で8回目を迎えました。講師には、朗読ボランティアグループ「おとづれの会」の皆さんをお招きし、音訳活動について学びました。**音訳は目の不自由な方に必要な情報を声で届ける大切な活動**です。講座では、市の広報紙の記事などを題材に、実際に朗読・録音する体験を行いました。生徒たちは、正しい発音やアクセント、読む速さ、間の取り方などに気を配りながら、聞き取りやすく伝わる読み方を意識して取り組んでいました。



はじめは緊張した様子も見られましたが、講師の皆さんの丁寧な指導を受ける中で、相手にわかりやすく伝えることの難しさを実感している様子でした。一語一語を大切にしながら朗読する姿からは、真剣に学ぼうとする気持ちが伝わってきました。

この講座は、音訳の技術を学ぶだけでなく、相手の立場に立って情報を届けることの大切さや、地域で支え合うボランティア活動の意義について理解を深める貴重な機会となりました。今後も、生徒たちが福祉やボランティアへの関心を高めるきっかけとなることを期待しています。



8月22日（土）親子木工教室（小学生）



山陽小野田市青少年育成協議会会長青木保さんと皆様のご指導のもと、親子で木製プランターボックス作りに挑戦しました。木材を組み立てたり、工具を使ったりしながら、親子で相談し、協力して作業を進めました。

当日は、厚狭中学校の生徒2名もボランティアとして参加し、子どもたちの作業を優しくサポートしてくれました。親子それぞれの工夫や思いが詰まった、世界に一つだけのプランターボックスが完成。完成した作品を手にした子どもたちは、達成感いっぱいの笑顔を見せ、ものづくりの楽しさを存分に味わい、充実した体験になりました。



夏休みの 貴重な体験！

地域で学ぶ 夏

～小中学生が生涯学習クラブ体験に参加～

クラブ体験の受け入れをした7団体

①シャドーボックスの会



立体的なアートづくりに挑戦し、集中力を発揮しながら細やかな部分まで丁寧に仕上げました。素敵な作品が完成し、達成感も味わえました。

②ストレッチ・リズム体操



音楽に合わせて体を動かしながら、リズムに親しみ、その楽しさを全身で体感しました。笑顔でのびのびと参加する姿が見られました。

③山陽卓球クラブ



ラケットの握り方から丁寧に教えていただき、基本を学びながら楽しく取り組むことができました。ボールを打ち返すことができると、とても嬉しそうでした。

④厚狭絵手紙を楽しむ会



心をこめて一文字ずつ丁寧に書く楽しさを体験しながら、思い思いに表現する時間を過ごしました。世界に一つだけの素敵な絵手紙ができあがりました。

⑤茶道教室



お茶のたて方や基本的な作法を丁寧に学びながら、落ち着いた雰囲気の中で一つひとつの作法に親しみました。静かな時間の中で、日本の伝統文化に触れることができました。

⑥厚狭バドミントン教室



一生懸命シャトルを追いかける姿が見られ、最後まであきらめずに楽しく挑戦していました。少しずつコツをつかみ、笑顔あふれる充実した時間となりました。

⑦絵手紙の会



楽しみながら、言葉や絵に気持ちを込めて、素敵な絵手紙づくりに挑戦していました。一つひとつ丁寧に表現しながら取り組む姿が見られ、温かみのある作品に仕上がっていました。

地域のつながりの中で、
大きく成長しました！

夏休み期間中、小中学生を対象としたクラブ体験を開催しました。地域で活躍されている皆様のご協力のもと、子どもたちは普段なかなか体験することのできないさまざまな活動に挑戦しました。

初めは緊張した様子の子どもたちでしたが、体験が進むにつれて次第に笑顔が増え、地域の方々との交流を楽しみながら、貴重な学びの時間を過ごしました。

各クラブでは、講師の皆さんが優しく丁寧に指導してくださり、子どもたちは新しいことに挑戦する楽しさや、仲間と協力することの大切さを学ぶことができました。

夏休みならではの貴重な経験となり、子どもたちにとって心に残る思い出の日となりました。ご協力いただいた地域の皆さん、ありがとうございました。

これからも、地域のつながりを大切にし、地域の皆さんとともに、子どもたちがさまざまな経験を通して楽しく学び、健やかに成長していけるよう、御協力をお願い致します！

8月1日(土)第21回
ふるさと納涼祭～交流部会～



恒例の「ふるさと納涼祭」が8月1日(土)開催されました！

オープニングでは「みんなで歌おう(手話)」をはじめ、各団体が個性豊かなステージを披露しました。厳しい暑さの中、参加者全員がいきいきとした表情で取り組み、笑顔と熱気が会場に溢れていました。各団体のパフォーマンスは工夫が光り、拍手と歓声が続きました。暑い中でも皆さん笑顔で歌い、踊り、心に残る明るい雰囲気広がっていました。

オープニングセレモニー



ステージイベント①



ステージイベント②

会場には、焼きとりや焼きそば、ビールなどの出店が並び、多くの来場者でにぎわいました。家族や友人と食事や会話を楽しむ姿、笑顔で頑張る子どもたちの様子が見られ、会場は終始和やかな雰囲気に包まれていました。祭りならではの味覚を楽しみながら、地域の交流が深まるひとときとなりました。

出店①



出店②



出店③



会場の様子①



会場の様子②



大福引大会

祭りの最後を飾った恒例の大福引大会では、当選番号が発表されるたびに、会場から大きな歓声と拍手が沸き起こり、最後まで大いに盛り上がりました。子どもから大人まで多くの方が参加し、会場は笑顔と笑い声に包まれました。

今回の祭りでは、地域の皆さんと一緒に準備や運営に携わり、多くの方のご協力のもと、楽しいひとときを過ごすことができました。地域のつながりの大切さを改めて感じる事ができた一日となりました。



寿大学・女性学級 活動の様子

寿大学、女性学級ともに第5回までの活動を終え、講座も折り返し地点を迎えました。これまで、多彩な内容の講座を通して学びを深めるとともに、参加者同士の交流を広げる有意義な時間となっています。今後も、生活に役立つ知識や新たな気づきを得られる、実りある活動を進めていきます。



○寿大学○



第5回の講座では、洞玄寺住職 江澤正思さんを講師に迎え、「厚狭の古い話」をテーマに、毛利勅子の生い立ちや人柄、女性教育にかけた思いについて学びました。

教え子の一人が残された手記をもとに、德基高等女学校（厚狭明進高等学校の前身）の様子や勅子の人柄を紹介されました。また、手記を読み上げながら、手記の内容や時代背景をイラスト化して詳細に説明されるなど、受講生も「当時ヘタイムスリップ」しているかのような感覚になったのではないのでしょうか。受講生の皆さんは、時折うなずきながら、熱心に耳を傾けていました。身近な地域の歴史を通して、德基高等女学校や毛利勅子について詳しく学ぶ機会となりました。

○女性学級○



第5回女性学級では、健康体操「楽しく体を動かそう」をテーマに吉富依子先生を講師にお招きしました。先生のユーモアあふれるお話に、会場にはたくさんの笑顔が広がりました。和やかな雰囲気の中、参加者の皆さんはストレッチや田植え音頭などの踊りを楽しみながら行っていました。先生のお話に耳を傾けつつ、自然と笑顔があふれ、会場は終始笑い声に包まれていました。どの受講生も心と体をリフレッシュでき、生き生きとされていました。健康づくりへの意識を高める有意義な講座となりました。



RMO

敬老お祝い品をお贈りしました～福祉部会～



今年度も式典は行わず、声掛け、見守りを兼ねて、お祝いの品が贈られました。敬老対象者は今年は2083名。9月1日（火）福祉部会の方が半日かけて自治会ごとに袋詰めして福祉員に渡しました。海苔などのお祝い品は9月21日（月）までを目途に福祉員さんを通して対象者に手渡されました。これからも地域で声を掛け合い、見守りながら、いつまでも元気に過ごしていただけるよう、地域全体で支えていきたいと思っています。





秋の自治会対抗球技大会



地域の絆を深める、熱い戦いが繰り広げられました！

9月6日（日）に秋の自治会対抗球技大会が開催されました。競技は、スローピッチソフトボールとソフトバレーボールの2種目で行われました。

スローピッチソフトボールでは、通常のソフトボールよりも山なりのゆっくりとした投球で行うため、経験の有無にかかわらず、幅広い年代の方が楽しむことができます。試合では、ヒットや好プレーが出るたびに大きな歓声が上がりました。ボールを追いかけて懸命に走る姿や、仲間同士で声を掛け合いながらプレーする姿が見られ、試合は終始盛り上がり、会場は大きな歓声に包まれました。

ソフトバレーボールでは、ボールをつなぐために「お願い！」「ナイス！」と声を掛け合い、一球一球に真剣な表情を見せる参加者たち。長いラリーが続くと、会場からも自然と拍手が起こり、得点が入るたびにチームから歓声が上がりました。声援と笑顔があふれる中、最後まで熱戦が繰り広げられました。



優勝チーム



スローピッチソフトボール



本貴～MAJI～

ソフトバレーボール



緑ヶ原A

どちらの競技も勝敗だけでなく、仲間と力を合わせてプレーする楽しさが感じられる大会となりました。暑さに負けない元気なプレーとたくさんの笑顔で、会場は熱気に包まれ、参加者にとって楽しく思い出に残るスポーツ大会となりました。参加された皆さん、ありがとうございました。

10月～12月の厚狭地域交流センター関連行事予定

- 10月 12日（祝）市民ふれあいスポーツ大会
- 13日（火）寿大学・女性学級「落語で笑って健康」
- 18日（日）厚狭センターまつり
- 11月 10日（火）寿大学「食から始める健康づくり」
- 19日（木）女性学級「フィールドワーク バス研修」
- 29日（日）厚狭ふるさとカローリング大会
- 12月 8日（火）寿大学「俳句を詠み味わう2」
- 17日（木）女性学級「宇野千代の人生と文学」
- 令和9年
- 1月 1日（祝）松嶽山初日を迎える会



センターHPはこちらから